

晋平・辰之メモリアル

華麗なる共演！ 長谷川陽子&三船優子

手玉口とピアノの名曲コンサート

中山晋平先生・高野辰之先生をはじめとする本市出身の音楽家の業績を称え、優れた音楽芸術にふれていただくため、長谷川陽子さん、三船優子さんのチェロとピアノによる

コンサートを開催します。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

期日 10月16日(土)
時間 午後5時30分(開場)、午後6時(開演)

会場 市民会館ホール
曲目 無伴奏チェロ組曲第一番よりプレリユード／トルコ行進曲／白鳥／夢のあとに／幻想即興曲／夜想曲第二十番 遺作／チェロ・ソナタより第一楽章／月の光／トロイメライ(チェロ版)／アヴェ・マリア(チェロ版)／ラ・カンパネラ／リベルタンゴ／鐘／序奏と華麗なるポロネーズ(曲目・演奏順は変更になる場合がございます)

長谷川陽子プロフィール
井上頼豊に師事。文化庁派遣在外研修員としてフィンランドに留学、アルト・ノラスに師事。第54回日本音楽コンクール第2位、90年ロストロポーヴィチ国際コンクール特別賞他、受賞多数。プラハ交響楽団など、国内外のオーケストラと多数共演。NHK「純情きらり」で曲演奏を担当。今年1月には、バーバーとエルガーの協奏曲を収録したCDをリリース。
<http://yoko-hasegawa.com/>



三船 優子プロフィール
1988年第57回日本音楽コンクール第1位入賞。桐朋学園大学卒業後、ジュリアード音楽院に留学。91年アメリカ・デビューを果たし、同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝。6年間に亘りNHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、多岐に活躍。幅広い音楽性とダイナミックな魅力を持ちあわせたピアニストである。
<http://www.yukomifune.com>



先行発売 2500円
6月18日(金)〜8月19日(木)
一般発売 3000円
8月20日(金)〜10月16日(土)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド
市役所文化スポーツ振興課、中山晋平記念館、高野辰之記念館ほか

お問い合わせ先 市役所文化スポーツ振興課文化振興係
☎(22)2111(内線394)

教育委員会だより

No.39 編集／中野市教育委員会

教育を拓く知恵

「食育」は生きる力を育み 豊かな暮らしをつくる

食はわたしたちが生涯にわたって、健康に暮らしていく上での根幹です。子どもたちは食と出合うことにより知識だけではなく、食に関する自分の課題を見つけ、その学びから生きる力を育み、自分の「くらし」を豊かにする知恵を獲得していきます。

6月は「食育月間」です。そこで「食育」について取り上げてみました。

食でつながる 豊かなまち

食を取り巻く環境は、食に対するニーズの多様化により大きく変化しています。

食生活は豊かになり、あらゆる食材が世界中から輸入され、食べたいものが、いつでも食べられるようになりました。

一方、食生活の乱れ、生活習慣病の増加、家族そろって食卓を囲む機会の減少、食を大切にす意識の希薄化、輸入食品の安全性の問題などが発生しています。

平成17年に食育基本法が制定され、「食に関する正しい知識の習得」「食を選ぶ力」「健全な食生活」を実践する人間を育てる「食育」の推進が始まりました。

平成21年3月に「中野市食育推進計画」ができ、乳幼児から高齢者まで、食を通じて豊かな人間性を育み、食を大切にし、活気あるまちづくりに取り組んでいます。

教育委員会でも、この計画に沿い、家庭・地域・生産者などの市民の皆さんや関係団体と連携し、食育推進に取り組んでいます。



食の改革と学校給食の歩み

ここで、食の改革を目指している学校給食の歩みをたどってみたいと思います。

昭和7年、延徳小学校で寒い冬間だけでも温かいみそ汁をとの願いから「みそ汁給食」が最初で、その後、各校でも行われました。

この活動は村をあげて取り組まれ、地域の子どもたちや学校教育に対する熱い思いの現れでした。

昭和30年代に入り、パン・ミルク・おかずの3種類による「完全給食」が実施されました。

昭和40年代には、学校給食

職員採用試験

平成22年度市職員採用上級試験(行政、土木)を行います。受験を希望される方は、市役所庶務課・総合窓口案内、豊田支所地域振興課、北部・西部の各公民館、永田窓口サービスステーションにある受験案内で受験資格などを確認の上、所定の試験申込書により申し込みをしてください。

なお、受験案内・試験申込書は、市公式ホームページからダウンロードいただけます。

受験申し込み・問い合わせ先 市役所庶務課職員係 ☎(22)2111(内線209・213)

試験区分	採用予定人員	受験資格			第1次試験		試験申込受付期間
		生年月日	住所要件	学力資格	科目	日時・会場	
上級試験	行政 若干名	日本国籍を有し、昭和55年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者	現在中野市に住民登録があり、将来にわたって居住する予定の者(勉学などで他に居住している者を含む)	大学卒業程度を有する者	・教養 ・専門 ・論文 ・一般性格 ・診断検査 ・職場適応性検査	7月25日(日) 午前8時45分 中野市役所 会議室	6月4日(金) 6月22日(火)
	土木 若干名	同上	同上	大学の土木系(専攻)を卒業し、専攻科目の学位を有する者	同上	同上	

センターが中野・豊田両地区に完成しました。

この施設の老朽化に伴い、新たな給食センターを建設し、現在は、南部(西条)・北部(新井)・豊田(豊津)の3つの学校給食センターから全小中学校に学校給食を供給しています。

学校給食センターでは、中野市の豊かな農産物を食材としたり、行事食、郷土食を提示しており、学校給食は郷土の誇りと愛着を学ぶ場となっています。

食材を育てる子どもの学び

食育の基本は家庭ですが、学校ならではの食育の推進は子どもたちの豊かな学習の場となっています。

その代表的な活動は、小学校低学年の生活科(週3時間)や中・高学年の総合的学習(週2〜3時間)の時間です。

子どもたちは、キュウリやジャガイモなどの栽培を通して、食物を育てる苦労や収穫の喜びだけでなく、旬の味を体験しています。また、地域の皆さんと一緒に活動する体験を通して、食文化や命の大切さと出合うことができま

育の講座を開催しておりますが、例えば北部公民館では、毎年「あるある探検隊」を募集し、赤岩地区の皆さんと米作りや干し柿作りなどを行い、世代間交流の貴重な場となっています。

◇ 食との出会いは、子どもたちの感性や生きる力を育み、子どもたちの未来の生活の礎となる学びの場です。

毎月の19日は「食育の日」です。日頃の食生活を見返したり、我が家の「味づくり」に挑戦してはいかがでしょう。食は人間を変える力をも持っています。

「食育の日」の献立

6月19日が土曜日のため、18日を「食育の日」とした、南部学校給食センターの献立です。
○紫米ごはん ○牛乳 ○味噌なめ玉汁(なめこ、玉ネギ、サヤエンドウ)・ニジマスの塩焼き(木島平産)・キャベツの即席漬(キャベツ、キュウリ、人参)※市内で取れた旬の食材をできる限り使用しています。